令和４年度

授業改善推進プラン

令和４年９月

台東区立黒門小学校

目　　次

１　学力向上を図るための全体計画・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　Ｐ３

２　授業改善推進プラン
各学年・専科指導方法の課題・具体的な授業改善策　・・・・・・・・・Ｐ４～１９

1　学力向上を図るための全体計画（令和４年度）

○台東区の教育目標達成のための基本方針（概略）

・人権尊重の精神の育成
・学校教育の充実
・社会教育の充実
・区民の教育参加の推進 等

○台東区学校教育ビジョン

・これからの社会を生き抜く力を育成する
・新たな価値を創造する人材を養成する
・多様な学習機会と学びの環境の充実を図る。

○学校教育目標

やさしい子　たくましい子　考える子

○学校経営方針

〔学力向上にかかわる要点〕

◇社会背景・要請、伝統とともに、各保護者の教育観・各個人のもつ課題の多様化を受けとめ、意見や感想を聞きながら、修正を繰り返し「納得解」を得ながら創る考え方（マネジメント）を重視する。

◇「よい習慣を身に付けること」を重視するとともに対話・交流（コミュニケーション）を大切にした学校経営を行う。

○地域の実態

・歴史と伝統を重んじ、学校教育に主体的に参画するなど協力的である。

○保護者の願い

・コミュニケーション力の向上
・他者への思いやりや尊重する態度の育成
・創造力、思考力、判断力の育成

○期待される児童像

・主体的、協働的に学習に取り組み、新たな発見をすることのできる児童

本校の目指す「確かな学力」

文部科学省が掲げる確かな学力の要素である「基礎的・基本的な知識及び技能」、「思考力、判断力、表現力等の能力」、「主体的に学習に取り組む態度」を基盤とした、21.5 世紀をよりよく生きるために必要な資質・能力

本校の授業改善に向けた視点

指導内容・指導方法の工夫	校内における研究や研修の工夫	教育課程上の工夫	家庭や地域社会との連携の工夫
○全国学力・学習状況調査及び台東区総合学力調査の結果を分析の上、授業改善推進プランを活用した指導の工夫・改善 ○言語活動を取り入れた授業の実施 ・国語科を中心とした「話す・聞く」「書く」「読む」技能の向上 ○ICT 教育環境を生かした教育活動の推進 ○校内研究との関連 ・『学びに向かう力を育む「黒門流の授業づくり」１０の手だて』の実践 ○個に応じた指導 ・「学力向上推進ティーチャー・教育活動アシスタント」の活用	○校内研究 「21.5 世紀を拓く～学びを楽しみ、自ら学び続ける児童の育成～」 ・「主体的に取り組み、学びの価値を見いだし、活用する児童」、「自ら疑問や課題を見つけ、見通しをもって、よりよく解決しようとする児童」の育成 ・基礎研究「自己調整学習について」の充実 ・研究授業の取り組み ・学力調査、校内の実態調査を活用した、児童の実態把握と研究への活用 ○ＩＣＴ研修の充実	○創意工夫の生かせる弾力的な単元構想 ○時数の確保と余剰時数の有効活用 ○読書活動の推進 ・図書館司書と連携した図書館の整備及び活用 ・「朝読書」と図書ボランティアによる読み聞かせ活動を通した読書活動	○学校教育の可視化 ・学校評価の公表 ・土曜授業公開（５回／年） ○地域環境・人材の活用 ・体験的な活動の積極的な取り入れ ・図書ボランティアと連携した読書習慣定着のための取り組みの充実 ○家庭学習の充実 ・宿題や家庭学習等に主体的に取り組む態度の育成と家庭への啓発

令和４・５年度　台東区教育委員会研究協力学校

【 第1学年 】 台東区立黒門小学校

	到達目標	児童の状況及び実態 指導についての課題	授業改善に向けての具体的な方策	改善策に対する 自己評価
国語	・我が国の言語文化に親しみ、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。【知識・技能】 ・順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもっている。【思考・判断・表現】 ・言葉がもつよさを感じ、楽しんで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・多くの児童が平仮名を習得しているが、片仮名はまだ不十分である。また、文章を書く中で促音の表記や助詞の「はへを」の使い方が身についていない。【知識及び技能】 ・楽しかったことや自分の好きなことを話すことはできるが、書いて表現することは、まだ難しい児童が多い。【思考力、判断力、表現力等】 ・読書を好む児童が多い。好きな種類の本ばかりを読む児童がいるため、幅広い分野の本に触れさせたい。【学びに向かう力、人間性等】	・片仮名や今後学習が始まる漢字の指導は、運筆を意識させたり、言葉遊びをしたりして確実に習得できるようにする。また、短い文作りの機会を増やし、促音や拗音、助詞の使い方を習得させていく。【知識・技能】 ・ペアやグループで話し合う機会を設定していく。また、身近な出来事や体験したことの感想を書く学習の中で、見本を見せたり掲示したりして、自信をもって書くことができるようにする。【思考・判断・表現】 ・図書の時間を週1回設定し、様々な分野の本を紹介したり読み聞かせしたりしていく。単元の学習に関連した本を教室内に置き、学習に合わせて読書活動も進められるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
算数	・数量の意味や図形の特徴を理解し、整数の計算やものの大きさを比較する技能を身に付けている。【知識・技能】 ・具体的な操作を通して、計算の仕方やものの形、量の比べ方などの考え方を身に付けている。【思考・判断・表現】 ・数量や図形に親しみをもち、算数で学んだことのよさや楽しさを感じながら学んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】	・10までの足し算、引き算は概ねの児童が習得している。【知識及び技能】 ・個人だけでなく、グループで具体的な操作をする活動を取り入れてきた。その中で計算の仕方や長さを捉えることができてきているが、考えたことを友達に伝えられる児童はまだ少ない。【思考力、判断力、表現力等】 ・進んで課題を解いたり、プリントや自ら計算カードを使って繰り返し学習したりする児童も見られる。【学びに向かう力、人間性等】	・視覚的に児童が理解できるよう、教具の準備やICT機器を使ったり、数量感覚を身に付けさせるため、操作活動を取り入れたりする。 ・計算カードやプリントを活用し繰り返し計算練習を行っていく。【知識・技能】 ・児童同士の学び合いの時間を積極的に取り入れていく。友達の考えに対し「同じ」「違う」という視点で聞くことができるよう、声掛けを行う。よい考えについては紹介し、全員で共有できるようにする。【思考・判断・表現】 ・楽しんで学習できるよう、生活経験と学習内容を結び付けたり、3分間計算を毎時間取り入れ自身の記録に挑戦したりして、粘り強く取り組める児童を育成する。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
生活	・活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会、自然とのかかわりに気付いている。【知識・技能】 ・自分と身近な人々、社会、自然とのかかわりについて考えたことを、自分なりの方法で工夫して表現している。【思考・判断・表現】 ・身近な人々や社会、自然に関心をもち、意欲的にかかわりを広げたり深めたりしようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・学校探検では、2年生に案内してもらいながら、様々な施設や働く人がいることに気付いていた。朝顔の栽培を通して、植物の成長に気付くことができた。【知識及び技能】 ・観察カードや振り返りカードなどに、見付けたものや体験したことなどを絵に描いたり文に書いたりして表現することができる。【思考力、判断力、表現力等】 ・児童の意欲的な姿は見られるが、広げたり深めたりすることは難しい。【学びに向かう力、人間性等】	・児童なりの気付きを取り上げ、板書を工夫して気付きを自覚できるようにしたり、ものの見方や捉え方など諸感覚を使う気付きを大切にしたりするような働きかけを行う。【知識・技能】 ・観察の視点や振り返りカードに書くポイントを伝えて、児童の思いや願いを表現できるようにする。また、児童の気付きを取り上げて、学習課題につなげられるようにする。【思考・判断・表現】 ・学習の中で、グループ活動を多く設定したり、児童同士が友達に話したり聞いたりする場面を通して、他の児童に広めるよさを取り上げて価値付けるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
体育	・様々な運動遊びに触れ、楽しく行うための基本的な動きを身に付けている。【知識・技能】 ・運動の仕方を工夫し、考えたことを他者に伝えようとしている。【思考・判断・表現】 ・きまりを守り、だれとでも仲良く、健康・安全に留意して、進んで運動しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・どんな運動遊びでも楽しんで活動する姿が見られる。水遊びでは、経験による差が大きい。【知識及び技能】 ・できたことや工夫したことを担任に伝える姿は見られるが、友達同士の教え合いや伝え合いをする様子はまだあまり見られない。【思考力、判断力、表現力等】 ・きまりを守って、友達と仲良く運動することができる。【学びに向かう力、人間性等】	・年間指導計画を基に、様々な運動遊びを経験させ基本的な動きが身に付くようにする。【知識・技能】 ・学習カードを活用し、自分の考えをまとめることができるようにする。また、工夫したところや運動のこつを発表させたり、教え合う時間、グループでの活動機会を増やしたりすることによって、他者意識をもたせ関わりが多くなるようにする。【思考・判断・表現】 ・運動量が豊富になるような場での動きを設定したり、グループ戦を取り入れたりすることで、きまりやルールを守ることの大切さを学んだり、運動への意欲を高めたりすることができるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	

音楽	・楽曲の特徴に気付き、音楽表現を楽しむための歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けている。 【知識・技能】 ・音楽表現に対する思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴いたりしている。 【思考・判断・表現】 ・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しんでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】	・楽曲の特徴には、半数近くの児童が気付くことができるが、音楽表現を楽しむための技能は個人の経験差などもある。 【知識及び技能】 ・歌詞の内容や曲想を感じ取りながら、音楽を味わって聴くことに苦手意識を持っている児童がいる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・身の回りの様々な音や音楽には半数以上の児童が親しんでいるが、協働して音楽活動をすることは児童により差がある。 【学びに向かう力、人間性等】	・基本的な知識・技能を身に付けられるよう時間を十分に確保し、スモールステップで歌唱や器楽の指導を丁寧に行うことで、安心・安全に活動できるようにするとともに、技能を習得できるようにする。 【知識・技能】 ・導入で読み聞かせをしたり、短い曲を聴く時間を設け、落ち着いて音楽を聴いたり味わったりする環境を作り、自己表現しやすい環境づくりを工夫する。 【思考・判断・表現】 ・鑑賞の時間を意図的に設定し、友達と関わりながら材料や自分のよさに気付き、鑑賞することの楽しさを味わえるようにする。 リズム遊びをしたり、即興的な表現をさせたり、模倣をさせたりしながら、音楽を作る楽しさの素地を作っていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
図工	・形や色の様子に気付き、材料や用具を使い、表し方を工夫することができる。 【知識・技能】 ・楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。 【思考・判断・表現】 ・つくりだす喜びを味わい、楽しく表現したり、鑑賞したりする活動に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】	・材料や用具の使い方に個人差があり、表し方を工夫するところまでいかない児童がいる。 【知識及び技能】 ・発想することに苦手さを感じている児童がいる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・つくったり鑑賞したりする経験に差が見られる。 【学びに向かう力、人間性等】	・基本的な知識・技能を身に付けられるよう時間を十分に確保し、材料や用具の指導を丁寧に行い、安心・安全に活動できるようにする。 【知識・技能】 ・参考作品を多く掲示し、視覚的にわかりやすく、発想しやすい環境づくりを整えていく。友達の作品を鑑賞し、様々な作品のよさを伝え、次の作品の発想へつながるようにする。 【思考・判断・表現】 ・様々な材料や友達と関わるような題材を意図的に設定することで、つくる楽しさを味わえるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
特別の教科 道徳	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方を深めることができる。	・友達の考えを否定せず、受け入れながら発表を聞くことができるが、自ら多面的・多角的に考えられる児童は少ない。	・児童が意欲的に考え、話し合うことができるように、発問の仕方や掲示物を工夫する。 ・自分自身を振り返る時間を多く確保したり、生活経験を想起できるような声掛けをしたりして、これからの生き方について考えられるようにする。 ・教材の中での道徳的価値を自分との関わりで捉え、生活の中で生かしていけるよう、道徳の授業以外でも学習内容を振り返ったり道徳的価値について振り返ったりする場面をもつ。 進ちょく状況及び追加／変更	
学級活動	・仲よく助け合い学校生活を楽しくする活動を行う。 ・友達の意見をよく聞いたり、自分の意見を言えるようにしたりして、学級生活を楽しくするための集団決定をする話合い活動を行うことができる。 ・少人数で構成された係で仲良く助け合って活動し、学級生活を楽しくすることができる。	・仲よく協力して生活しながら、意欲的に活動している。 ・学級全体での話し合い活動はまだ十分にできていないが、少人数での話し合い活動では、自分の意見を言ったり友達の意見を聞いたりして、よりよい決定ができる児童もいる。 ・自分の思いと友達の思いに折り合いをつけて、活動を進めることができる児童は、まだ少ない。	・友達と協力して係活動に取り組み、よりよい活動が実践できるように支援していく。児童同士の関わりの中で、互いに励まし合う言葉や温かい言葉を掛けられるよう指導していく。 進ちょく状況及び追加／変更	

【 第2学年 】 台東区立黒門小学校

	到達目標	児童の状況及び実態 指導についての課題	授業改善に向けての具体的な方策	改善策に対する 自己評価
国語	・我が国の言語文化に親しみ、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 【知識・技能】 ・順序立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、伝え合う力を高め、自分の思いや考えをもっている。 【思考・判断・表現】 ・言葉がもつよさを感じ、楽しんで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	・漢字を正確に表記することが苦手な児童がいる。また、主語や助詞の使い方や「」、句読点の使い方が定着していない。定期的な作文指導を行い、表記や書き方について指導を行う。 【知識及び技能】 ・順序立てて文章を書いたり、話したりすることが苦手な児童がいる。また、自分の考えを表現することが苦手な児童がいる。児童同士の読み合いや見合いを通して、よいと思ったものを真似したり、直したりできるようにする。 【思考・判断・表現】 ・読書活動は意欲的に行っている。多様な文章とじっくり向き合うのが苦手な児童がいる。朝読書や週1時間の図書の時間の確保、図書ボランティアの読み聞かせを行い読書に親しませる。 【学びに向かう力、人間性等】	・定期的にミニテストを行い、漢字の定着度90%以上を目指す。また、個別に書き順の確認や字形を意識して正確に書けるよう指導する。 ・読むことや書くことの学習において、主語や述語、助詞や接続語などに着目させたり意識したりするように指導する。 【知識・技能】 ・話すことにおいて、短いスピーチや、それに対して質問や感想等を述べる活動を普段から取り入れることで、適切に言葉を使いながら自分の考えを表現することができるようにしていく。また、書くことにおいて組立メモや段落を意識させ、事柄の順序を意識するようにする。 【思考・判断・表現】 ・読み聞かせや本紹介の時間を確保し、読書への興味関心を高める。その中で、様々な分野の本にも目を向けられるようにしていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
算数	・数量の意味や図形の特徴を理解し、整数の計算や、長さやかさの測定などの技能を身に付けている。 【知識・技能】 ・具体物や図などを用いて、計算の仕方や身の回りの事象を筋道立てて考えたり、簡潔に表現したりしている。 【思考・判断・表現】 ・数量や図形に進んで関わり、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	・計算技能(加法・減法)が定着していない児童や数量や図形をイメージすることが難しい児童がいる。 【知識及び技能】 ・自分の考えや計算の仕方に固着してしまう児童がいる。自分の考えだけでなく、友達の考えのよい点に気付き、学び合えるようにする。 【思考・判断・表現】 ・算数に苦手意識をもっている児童がいる。 【学びに向かう力、人間性等】	・繰り上がり・繰り下がりの仕方や数量などは視覚的に児童が理解できるよう教具を使用し具体物を使った体験活動を充実し理解を深めることができるようにする。 ・問題演習を繰り返しさせたり、計算の仕方や意味を確認したりして定着を図る。 【知識・技能】 ・適切な課題設定をするとともに、児童同士の「学び合い」活動を各単元で取り入れ、互いの考えを共有し、よさに気付くことができるようにする。また、学び合いで気付いたことをノート等に書き、学習過程が分かるようにする。 【思考・判断・表現】 ・児童が自分事として課題を見いだすため、身近な生活体験を引き出したり、具体物やICT機器を活用したりして授業の導入を行う。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
生活	・活動や体験を通して、自分と身近な人々、社会、自然とのかかわりに気付いている。 【知識・技能】 ・身近な人々、社会や自然とのかかわりについて考えたことを、相手や目的に応じて方法を工夫し、表現している。 【思考・判断・表現】 ・身近な人々や社会、自然に関心をもち、意欲的にかかわりを広げたり深めたりしようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	・自分自身のことや学校、地域、自然等に関することに気付くことはできるが、内容の広がりが見られない。 【知識及び技能】 ・相手や目的に応じて、どのように表現したり発表したりすればよいのか、まとめることができない。 【思考・判断・表現】 ・学習内容に興味をもつことができている。 【学びに向かう力、人間性等】	・校外学習、体験学習を通して、児童の生活に関わる気付きを増やす。 ・児童同士や教師との交流を設定し、気付きや考えを広げられるよう仕向ける。 【知識・技能】 ・個別指導で思いを聞き取り、言語化、文章化するとともに、学習の節目で、振り返りやまとめを行い、互いに伝え合う場を設けるようにする。また、児童の気付きに教師が価値付けを行い、児童の思考を深めていく。 【思考・判断・表現】 ・児童の思いや考えを学級全体で共有・確認する時間をとり、児童の意見を吸い上げながら単元計画を作り、自発的に学習を進めていくようにする。また、児童の気付きに価値付けをすることで自己肯定感を高めていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	

体育	・様々な運動遊びに触れ、楽しく行うための基本的な動きを身に付けている。　【知識・技能】 ・運動の仕方を工夫し、考えたことを他者に伝えようとしている。　【思考・判断・表現】 ・きまりを守り、だれとでも仲良く、健康・安全に留意して、進んで運動しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	・体力が低い児童や運動遊びの行い方や基本的な体の動きが身に付いていない児童がいる。 【知識及び技能】 ・運動遊びを楽しむことはできている、ただ、運動遊びをするだけに留まらず、友達と伝え合いながら各種の運動遊びの行い方の工夫を考えるまでには至っていない。　【思考・判断・表現】 ・運動遊びの際、友達とトラブルに発展する児童がいる。　【学びに向かう力、人間性等】	・授業の中で、スモールステップでの活動を充実させる。体の動かし方を真似させたり、動きを説明したりしながら指導し、各種運動遊びに対して活動の行い方や基本的な体の動きを身に付けさせる。 【知識・技能】 ・伝え合いの時間を用いて、自分や友達の活動の仕方について振り返り、改善点や良い点などについて考える機会を設ける。　【思考・判断・表現】 ・きまりを守り誰とでも仲良く運動をする態度を育てるために、きまりを児童との対話で作っていくことに努める。また、友達同士で褒め合う時間を設定したり準備や片付けを率先して行う児童やグループを褒めたりすることで、学級全員が認め合い協力し合う環境作りに努める。また、学習シートを用いて、児童の考えを教師が価値付け、自己肯定感を高めていく。　【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
音楽	・楽曲の特徴に気付き、音楽表現を楽しむための歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けている。　【知識・技能】 ・音楽表現に対する思いをもったり、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴いたりする。【思考・判断・表現】 ・楽しく音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に親しんでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】	・音楽表現を楽しむための歌唱、器楽、音楽づくりそれぞれの技能は、個人の経験差や個人の特性の差がある 【知識及び技能】 ・音楽表現を表現することに苦手意識を持っている児童もいる。 【思考力・判断力・表現力等】 ・身の回りの様々な音や音楽には多くの児童が親しんでいるが、協働して音楽活動をすることは児童により差がある。 【学びに向かう力、人間性等】	・導入時に歌唱や演奏方法、表し方の工夫について丁寧に指導し、自分で工夫して表すことができるようにする。 【知識・技能】 ・発想したことを発言したり、簡単にふしで表現でしたりできるように常時活動でリトミックを行い、自分の思いを相手に伝えられるようにする。 【思考・判断・表現】 ・身の回りの音や音楽のよさに気付く体験の時間を十分に確保し、身近な音や楽器を使ってつくることの楽しさを味わえるようにする。 ・協働して音楽を作ったり、歌ったりする良さに気付くよう、題材や取り組み方を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
図工	・形や色の様子に気付き、材料や用具を使い、表し方を工夫して表すことができる。 【知識・技能】 ・楽しく発想や構想をしたり、身の回りの作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。　【思考・判断・表現】 ・つくりだす喜びを味わい、楽しく表現したり、鑑賞したりする活動に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】	・材料や用具を使い、表し方を工夫する時に個人差がある。 【知識及び技能】 ・題材が変わっても、発想が固定化されてしまう児童がいる。　【思考力・判断力・表現力等】 ・材料に触れる経験、つくる経験に差が見られるため、実体験を増やし、つくりだす喜びを味わえるような題材を重視する。【学びに向かう力、人間性等】	・様々な用具や材料に触れる題材を年間で取り入れる。友達同士の学び合いから一人一人の知識・技能を高める時間を確保し、様々な表し方の工夫ができるようにする。　【知識・技能】 ・発想したことを簡単にかいたり、言葉で示したりできるイメージシートを効果的に使い、自分の思いを相手に伝えられるようにする。 【思考・判断・表現】 ・材料の感触やよさに気付く体験の時間を十分に確保し、身近な材料を使ってつくることの楽しさを味わえるようにする。　【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
特別の教科　道徳	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方を深めることができる。	・教材を通して自己の思いをもち、生活に生かしていこうと意欲をもつ児童は多いが、実践につながるまでに至っていない。 ・考えを友達と伝え合うことで道徳的な判断力、心情等に関して多様な考えとその良さに気付かせる。	・年間指導計画に則りながらも、学級の実態に合った教材を適時~~随時~~取り上げていくようにする。 ・児童の実態を考えて、導入や教材の工夫・役割演技や動作化を取り入れる等をし、児童が教材を通して自身の内面と向き合えるようにする。 ・学習シートを使用し、自己の考えを整理したり友達と共有したりすることができるようにする。 ・話合い活動を取り入れたり、意見交換をしたりする場を設け、友達と自分の違いを感じ取ったり違いを認めたりできるようにしていく。 進ちょく状況及び追加／変更	
学級活動	・仲良く助け合い学級生活を楽しくする活動を行う。 ・友達の意見をよく聞いたり、自分の意見を言えるようにしたりして、学級生活を楽しくするための集団決定をする話合い活動を行うことができる。 ・少人数で構成された係で仲良く助け合って活動し、学級生活を楽しくすることができる。	・学級での話合いに積極的に参加している児童が多い。話合いの中で、自分の意見だけを突き通してしまう児童もいる。多様な意見を受け入れるとともに、それに関連させながら意見を発表できるよう支援する。 ・友達と協力しながら係活動に取り組む児童が多い。活動の時間を確保し、充実した活動にできるようにする。	・国語科での話すこと聞くことの学習活動の中で、話合いの意義や仕方について理解を深める。 ・特別の教科　道徳において、様々な価値観に触れさせ、他者理解や他者の尊重について実感をさせる。 ・当番活動や係活動を計画し、その都度教員が価値付けをしたり、児童同士で感想を伝え合う時間を確保したりすることで、活動への意欲を高めるとともに学級への帰属意識につなげていくようにする。 進ちょく状況及び追加／変更	

【 第３学年 】 台東区立黒門小学校

	到達目標	児童の状況及び実態 指導についての課題	授業改善に向けての具体的な方策	改善策に対する 自己評価
国語	・我が国の言語文化に親しみ、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。【知識・技能】 ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、伝え合う力を高め、思いや考えをまとめている。【思考・判断・表現】 ・言葉がもつよさに気付き、幅広く読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・漢字の定着度に個人差がある。【知識及び技能】 ・「話すこと・聞くこと」では、相手の話を聞いて自分の思いや考えを伝えることが難しい児童もいる。また、「書くこと・読むこと」では、目的に合わせて、内容の中心を明確に書いたり捉えたりすることが難しい児童がいる。【思考力、判断力、表現力等】 ・自ら課題をもち、解決のために辞書や教科書、インターネットを用いて調べようとしている。一方で、他者との情報の共有や深め合いに消極的な児童がいる。【学びに向かう力、人間性等】	・定着を図るため、漢字の復習をゲームや小テストを継続的に行う。また、新出漢字を繰り返し練習するのではなく、漢字の成り立ちを考えたり、辞書を活用して例文を考えたりし、実際に活用できるように指導する。【知識・技能】 ・話題や内容の中心を捉えることができるよう、中心となる事柄や段落の関係を明確にしながら学習活動を進めるように指導する。【思考・判断・表現】 ・話合いで思考が広がったり深まったりする経験を積ませ、話合いのよさや自他のよさに気付くことができるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
社会	・地域の産業や諸活動、地理的環境、地域の変化を理解し、資料を調べまとめる技能を身に付けている。【知識・技能】 ・地域社会の社会的事象の特色や相互の関連について考えたことを適切に表現している。【思考・判断・表現】 ・地域社会の社会的事象について進んで問題を解決し、生活に生かそうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・調べ学習の仕方やツールの使い方を身に付ける必要がある。【知識及び技能】 ・自分の意見と他者の意見とを関連付けることが難しい。発表する学習活動において、情報や気付きの共有など学びを広げたり、深めたりする必要がある。【思考力、判断力、表現力等】 ・自ら解決方法を考え、解決することを指導する。【学びに向かう力、人間性等】	・地図帳、図鑑、ICT 機器を活用するなど、多くのものに触れさせ、いつでも手にとることができるようにして、状況によって合う資料を見付けさせるようにする。 また、課題に応じて適切な情報を選択できるよう個別に声掛けをする。【知識・技能】 ・課題ごとにグループに分かれて調べたことを発表するなど、他のグループの発表から学ぶ機会を設定する。【思考・判断・表現】 ・単元の導入やまとめなど、児童の主体性を生かした授業づくりを工夫し、学習のゴール及び学習計画を立てる時間を十分に確保することで、課題意識をもって学習活動に取り組むことができるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
算数	・数の表し方や図形などの基本的な概念や性質について理解し、計算や作図、測定などの技能を身に付けている。【知識・技能】 ・計算の仕方や図形、身の回りの事象について筋道立てて考えたり、簡潔に表現したりしている。【思考・判断・表現】 ・数量や図形に進んで関わり、算数で学んだことを生活や学習に活用しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・基礎的な四則計算の技能が定着していない児童や基本的な長さ・かさの単位換算が苦手な児童がいる。【知識及び技能】 ・計算の技能は身に付いているが、計算の仕方や考え方を分かりやすく簡潔に説明することは難しい児童が多い。【思考力、判断力、表現力等】 ・算数に苦手意識をもっている児童や、「知っている」という気持ちが先走ってしまう児童がいる。【学びに向かう力、人間性等】	・具体物を用いたり体験活動を充実させたりして実感を伴って身に付けられるように指導する。 ・問題演習を繰り返しさせ、技能の定着を図る。【知識・技能】 ・適切な課題設定をするとともに、計算や図形の仕方や概念を説明する活動をていねいに扱い、筋道立った簡潔な説明に触れる機会を多く取り入れる。【思考・判断・表現】 ・児童が自分事として課題を見いだし、解決に向かおうとする態度を育むために、課題に関連する身近な生活体験を引き出したり、具体物やICT機器を活用したりして授業の導入とする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
理科	・自然現象についてその性質や規則性を理解し、観察、実験に関する基本的な技能を身に付けている。【知識・技能】 ・比較しながら調べる活動を通して、差異点や共通点を基に問題を見いだし、表現している。【思考・判断・表現】 ・自然現象に進んで関わり、問題解決し、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・観察するときに着目する事柄や問題を予想する際に活用する知識を身に付けている児童は多い。【知識及び技能】 ・自分の経験や知識をもとに、学習課題に対する予想を立てている。【思考力、判断力、表現力等】 ・児童の思考や気付きを深めたり、広げたりすることで、次の学習への意欲を高める必要がある。【学びに向かう力、人間性等】	・各単元の内容を復習しながら確認するとともに、観察の仕方や実験器具の使い方など、安全に学習を進めることができるよう指導する。 ・児童に観察や実験の際に、条件を意識して実験計画を立てるように意識させる。【知識・技能】 ・観察や実験の時間や他者との対話の時間を十分に確保し、実験結果から分かることを考えたり、友達と交流したりすることで学びを深めさせる。【思考・判断・表現】 ・学習を自分の生活と関係付けたり、活用のされ方や仕方を考えたりするようにする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	

体育	・運動の楽しさや喜びに触れ、運動を行うための基本的な動きや技能、健康的な生活についての知識を身に付けている。【知識・技能】 ・自分の運動の仕方や健康な生活について課題解決を目指して工夫し、考えたことを他者に伝えようとしている。【思考・判断・表現】 ・きまりを守って進んで楽しく運動しようとし、健康な生活について関心をもっている。 【主体的に学習に取り組む態度】	・持久力や柔軟、瞬発力など、体力に課題をもつ児童がいる。 ボールの投げ方などの体の動かし方を知らない児童も少なからずいる。【知識及び技能】 ・体をどのように動かしたら、求めている動きになるのか考えを表現できる児童が多い。【思考力、判断力、表現力等】 ・活動によって、運動しようとする態度に差がでてきた。【学びに向かう力、人間性等】	・様々な動きに取り組ませる活動の時間を設定し、自分の体を動かし、いろいろな動きを試しながら、学習のめあてに沿った自己のめあてを立てて、運動に取り組ませる。【知識・技能】 ・友達同士で見合ったり、ICT機器で撮影をしたりする時間を設定して、自分の運動の様子を振り返り、比較し、調整することができるようにする。また、習熟度に応じて、段階をもった運動に取り組ませることで、自分にあっためあてをもてるようにする。【思考・判断・表現】 ・学習に対する意欲を高めるため、ルールや学習活動を工夫する。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
音楽	・楽曲の特徴に気付き、適切な音楽表現をするための歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けている。 【知識・技能】 ・音楽表現に対する思いや意図をもったり、曲や演奏のよさを見いだしながら音楽を味わって聴いたりする。【思考・判断・表現】 ・進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しんでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】	・楽曲の特徴に合わせた歌い方や、演奏、音楽表現を工夫できる児童が増えつつある。技能の差が埋まるよう常時活動で技能習得の機会を増やす必要がある。【知識及び技能】 ・演奏技術を練習し習得したいという児童が増えてきている。技術だけでなく表現したい思いを大切にするために、歌詞や曲想を味わう学習を増やす必要がある。【思考力・判断力・表現力等】 ・協働して音楽活動する児童が多いと感じるが、様々な音楽に親しんでいる児童は音楽経験の差や個人の趣向の差も見られる。【学びに向かう力、人間性等】	・楽曲を聴き、楽器に触れる時間を十分に確保し、新たな題材のよさや楽曲の特徴などに気付き、表し方を工夫できるようにする。【知識・技能】 ・様々な種類の題材を年間に取り入れ、題材のよさに合わせて思いや意図が広がるようにする。【思考・判断・表現】 ・視点を明確にした鑑賞の時間を設定し、友達と自分との違いを感じたり、よさを認め合えたりできるようにする。また、様々な音楽に触れあえる機会を増やし、それぞれの音楽のよさや面白さに気付くようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
図工	・形や色の様子が分かり、材料や用具を使い、表し方を工夫して表すことができる。【知識・技能】 ・豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。 【思考・判断・表現】 ・つくりだす喜びを味わい、すすんで表現したり、鑑賞したりする活動に取り組んでいる。 【主体的に学習に取り組む態度】	・新しい材料や用具を使う時に、表し方の工夫に差があるため、材料や用具についての指導を工夫する必要がある。【知識及び技能】 ・鑑賞では、自分の作品の工夫について自信をもって説明することができるが、自分のイメージが先行し題材のねらいから外れてしまう児童がいる。【思考力・判断力・表現力等】 ・自分の思いを表したり、説明したりすることはできるが、材料に触れる経験、つくる経験に差が見られる。【学びに向かう力、人間性等】	・材料や用具に触れる時間を十分に確保し、新しい材料のよさや用具の特徴などに気付き、表し方を工夫できるようにする。【知識・技能】 ・導入時に題材のねらいやその時間のめあてを明確に板書し、ねらいに沿って発想できるようにする。【思考・判断・表現】 ・材料の感触やよさに気付く体験ができるような題材を設定する。 ・視点を明確にした鑑賞を行うことで、友達と自分の違いやよさを認め合い、つくる楽しさを味わえるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
特別の教科 道徳	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方を深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を養う。	・授業の内容を実際の生活と結び付けて考えられるように、教材や発問を工夫する必要がある。	・興味をもって学習ができるよう、導入や教材提示を工夫する。これまでの生活経験を結び付けながら振り返りをし、自身の生活に生かす。 進ちょく状況及び追加／変更	
総合的な学習の時間	・地域の自然や文化の素晴らしさやそれを守る人々の工夫がわかる。 ・比較・分類するなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。【知識・技能】 ・自分の関心から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、相手や目的に応じてまとめ・表現する力を身に付ける。 【思考・判断・表現】 ・探究的な学習に主体的・協同的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、自ら地域の活動に参画しようとする態度を育てる。 【主体的に学習に取り組む態度】	・学校近郊にある上野公園を教材とし、自分の興味関心に基づいた学習テーマで学習を進めることで、地域の自然や文化のよさや課題についての理解を深める必要がある。【知識及び技能】 ・情報収集や情報整理など、課題に応じて適切に情報を活用することができるようにする。【思考力、判断力、表現力等】 ・学習課題について調べたり、発表をしたりする中で、児童の思考や気付きを深めたり、広げたりして学習への意欲を高める必要がある。【学びに向かう力、人間性等】	・上野公園にスポットを当て、直接体験を繰り返し、実感を伴った知識を身に付けていく。また、そこから課題を設定し、教師が問いかけ解決方法を相談しながら学習を進めていく。【知識・技能】 ・情報を整理する方法を教えたり、国語の学習で学習した情報のまとめ方を活用したりする。【思考・判断・表現】 ・児童自ら学習課題を設定するように支援する。実物を見たり、触れたり、見学したりする活動を設定して学びを広げるとともに、学んだことを他の学習に生かす・つなげることができるよう工夫をする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	

学級活動	・協力し合って楽しい学級生活をつくる活動を行う。 ・相手の話をしっかり聞き、自分と異なる考えなどについても相手の立場や状況を考え、理由を明確にして意見を言えるようにする。折り合いを付けて集団決定をする話合い活動ができる。 ・朝や帰りの時間などを生かして、積極的に係活動や当番活動に取り組むことができる。 ・計画や運営などの役割を分担し、協力して楽しい集会活動をすることができる。	・学級への帰属意識を全児童に感じさせるようにしたい。 ・経験を生かして、学級生活を楽しく豊かにするための活動を考えたり、取り組んだりする手立てを講じる必要がある。	・係活動の活動時間や環境を確保する。 ・適時活動計画を考え、それらを振り返る時間を確保する、活動の方法や内容を検討・修正しながら充実した活動となるよう助言を行う。 進ちょく状況及び追加／変更	

【 第4学年 】 台東区立黒門小学校

	到達目標	児童の状況及び実態 指導についての課題	授業改善に向けての具体的な方策	改善策に対する 自己評価
国語	・我が国の言語文化に親しみ、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。 【知識及び技能】 ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、伝え合う力を高め、思いや考えをまとめている。 【思考・判断・表現】 ・言葉がもつよさに気付き、幅広く読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	・漢字の定着度に個人差が大きく、ノートや作文などで日常的に使うことができていない児童がいるので、定着度を上げていく必要がある。 【知識及び技能】 ・「書く」活動では、「始め・中・終わり」の構成を意識して書きたいことの中心をはっきりさせて書くことに課題のある児童がいる。また、「話す」活動では、要点をまとめて分かりやすく相手に伝えることができない児童がいる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・相手の話の要点に気を付けて聞いたり、相手を意識して分かりやすく話したりすることが定着していない児童がいる。 【学びに向かう力、人間性等】	・ミニテストを適宜実施することで定着を図る。ノートや作文でも既習の漢字を活用することを指導する。 【知識及び技能】 ・テーマを決め、書くことの中心を明確にさせてから、「始め・中・終わり」の 3 つの構成を立てることを繰り返し指導し定着させる。また、必ず読み返して推敲を行うことを習慣付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・「話す」活動では、他教科とも関連させて、プレゼンテーションの仕方や話合いの仕方などを学ばせる。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
社会	・地域の産業や諸活動、地理的環境、先人の働きを理解し、資料を調べまとめる技能を身に付けている。【知識及び技能】 ・地域社会の社会的事象の特色や相互の関連について考えたことを適切に表現している。 【思考・判断・表現】 ・地域社会の社会的事象について、進んで問題を解決し、生活に生かそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	・資料を正しく読み取ったり、過不足なくまとめたりすることに課題が見られる。 【知識及び技能】 ・必要な情報を選別することが苦手な児童がいるので、資料を精選し、読み取った情報から考察できるようにしていく必要がある。 【思考力、判断力、表現力等】 ・区外から登校しており、台東区の様子について関心が低い児童もいるので、互いの住んでいる地域の社会的事象の特色や共通点などに気付き、友達と関わりながら課題を解決していけるような学習計画を立て、指導することが重要となる。 【学びに向かう力、人間性等】	・資料を効果的に授業に取り入れ、読み取り方を指導するとともに、自分の必要な情報を選別できるように指導していく。 【知識及び技能】 ・資料から分かったこと（事実）と自分の考え（考察）を区別してまとめられるよう、話し合いの場、一斉指導の場で2つの違いやまとめ方を繰り返し指導し、習慣付けさせる。 【思考・判断・表現】 ・家庭の協力を得ながら互いの住む地域の差異や共通点を考えられるように指導する。また、疑問や予想を話し合う機会を取り入れ、話し合いながら疑問や予想の解決策を見いだして解決できるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
算数	・数の表し方や図形、四則の関係について理解し、計算したり作図したりするなどの技能を身に付けている。 【知識及び技能】 ・数量関係や図形の性質、データなどに着目して筋道立てて考えたり、的確に表現したりしている。 【思考・判断・表現】 ・学習したことを振り返り、よりよい方法を粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用したりしようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	・数の表し方の理解や四則計算などの基礎的な技能に個人差が大きい。ノートの使い方が身に付いていない児童もおり、定着度を上げていく必要がある。 【知識及び技能】 ・指定された図形を作図する技能は身につけているが、図形の性質を説明したり、性質に着目して筋道立てて考えたりすることには課題が見られる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・算数に苦手意識をもっている児童がいるので、単元導入時の活動を工夫する。 ・課題に対して、答えを出せばそれでよいと考え、粘り強く様々な方法を試さなかったり自分の考え方に固執したりする児童が見られる。 【学びに向かう力、人間性等】	・計算では、繰り上がり・繰り下がりなどは視覚的に児童が理解できるよう教具の準備や操作を通年で取り入れていく。 【知識及び技能】 ・適切な課題設定をし、知識を活用して考える活動を多く取り入れていく。 ・児童同士の「学び合い」活動を各単元で取り入れるとともに、学び合ったことで気付いたことをノート等に書き、学習過程が分かるようにする。 【思考・判断・表現】 ・主体的に学習に取り組めるよう、課題に関連する身近な生活体験を引き出したり、具体物やICT機器を活用したりして授業の導入とする。また、具体物を使った体験活動を充実することができるようにする。 ・学び合い活動を通して、ため、自分の考えだけでなく、友達の考え方のよい点に気付き、多面的に捉え考えるよさに気付けるようにする。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
理科	・自然現象についてその性質や規則性を理解し、観察、実験に関する基本的な技能を身に付けている。 【知識及び技能】 ・関係付けて調べる活動を通して、既習の内容や生活経験を基に、根拠のある予想や仮説を発想し、表現している。 【思考・判断・表現】 ・自然現象に進んで関わり、問題を解決し、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	・自然体験や生活経験が少ない児童も一定数おり、実体験に基づいた知識というよりは教科書や資料などに基づいた知識に偏りがちである。 【知識及び技能】 ・目の前の事象にのみ集中してしまい、筋道を立てたり比較したりして考えることが苦手な児童がいる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・根拠のある予想を立てられない児童がいる。友達と話し合ったり、既習の内容を基に考えたりするよう、指導していく必要がある。 【学びに向かう力、人間性等】	・実験や観察を多く取り入れ、実感を伴った理解を得られるようにする。 【知識及び技能】 ・既習事項や自然現象など多面的にとらえられるように提示す資料を精選し、筋道を立てたり比較したりして考える手立てを増やす。また、予想→観察・実験→結果分析→考察の一連の流れを繰り返し、思考や分析の手順を定着させる。 【思考・判断・表現】 ・実験では、課題を解決するための方法を考え、話し合いながら活動できるようにする。また、比較して考える思考の手助けとなるよう、ICT 機器を活用していく。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	

体育	・運動の楽しさや喜びに触れ、運動を行うための基本的な動きや技能、健康的な生活についての知識を身に付けている。【知識及び技能】 ・自分の運動の仕方や健康な生活について課題解決を目指して工夫し、考えたことを他者に伝えようとしている。【思考・判断・表現】 ・きまりを守って進んで楽しく運動しようとし、健康な生活について関心をもっている。【主体的に学習に取り組む態度】	・運動経験の少ない運動領域には、苦手意識をもっている児童もいるので、活動を工夫し技能を身に付けさせる必要がある。【知識及び技能】 ・自身の運動の課題を見付ける・受け入れることが難しい児童もいるので、学び合い活動を重視する必要がある。【思考力、判断力、表現力等】 ・勝敗のない運動には楽しく取り組むことができるが、勝敗のある運動では、公正・公平な態度を身に付ける必要がある。また、安全面に関しては課題が残る。【学びに向かう力、人間性等】	・学習過程を工夫したり、運動の特性を十分に味わえるような手立てを講じたりして、スモールステップで技能を身に付けさせるようにする。【知識及び技能】 ・友達の動きを見合う活動を取り入れ、課題に気付かせたり、アドバイスをしたりして、良い動きに近付けるようにする。【思考・判断・表現】 ・互いに声を掛け合えるように、チーム編成を工夫する。また、毎時間の安全指導を徹底する。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
音楽	・楽曲の特徴に気付き、適切な音楽表現をするための歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けている。【知識・技能】 ・音楽表現に対する思いや意図をもったり、曲や演奏のよさを見いだしながら音楽を味わって聴いたりする。【思考・判断・表現】 ・進んで音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、様々な音楽に親しんでいる。【主体的に学習に取り組む態度】	・楽曲の特徴に合わせた歌い方や、演奏、音楽表現を工夫できる児童が半数以上いる。技能の差があるものの、児童間で技能を教え合う場も見られる。【知識及び技能】 ・演奏技術を練習し習得したいという児童が増えてきている。技術だけでなく表現したい思いを大切にするために、歌詞や曲想を味わう学習を重視していく。【思考力・判断力・表現力等】 ・協働して音楽活動する児童が多く、既習事項を駆使しながら音楽活動を楽しんでいる姿が見られる。一方で様々な音楽に親しんでいる児童の中でも音楽経験の差や個人の趣向の差も見られる。【学びに向かう力、人間性等】	・友達同士の学び合いから一人一人の知識・技能を高める時間を確保し、各自のめあてに沿った技能習得ができるようにする。【知識・技能】 ・導入時に題材のねらいやその時間のめあてを明確に板書し、ねらいに沿って、音楽表現ができるようにする。【思考・判断・表現】 ・一人一人が見通しをもって思いを持って演奏・表現できるよう、ワークシートの活用や展開時の言葉掛けなどで進度を確認できるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
図工	・形や色の様子が分かり、材料や用具を使い、表し方を工夫して表すことができる。【知識・技能】 ・豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。【思考・判断・表現】 ・つくりだす喜びを味わい、すすんで表現したり、鑑賞したりする活動に取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】	・材料や用具の使い方に十分に慣れていない児童や、表し方の工夫の仕方が分からない児童がいるため、導入時の指導を工夫する必要がある。【知識及び技能】 ・テーマから作るものを想像し、計画的に作品づくりに取り組むことは得意だが、材料から発想することが苦手な児童が多い。【思考力・判断力・表現力等】 ・自分の思いを表すことや粘り強く取り組むことに差が見られる。【学びに向かう力、人間性等】	・導入時に材料や用具の使い方、表し方の工夫について丁寧に指導し、自分で工夫して表すことができるようにする。【知識・技能】 ・様々な種類の題材を年間に取り入れ、材料のよさに合わせて発想や構想が広がるようにする。【思考・判断・表現】 ・一人一人が見通しをもって思いを表現できるよう、ワークシートの活用や展開時の言葉掛けなどで進度を確認できるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
特別の教科　道徳	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方を深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を養う。	・よりよく生きるためにどのような行動を選択すればよいか知識としては理解していても、実践に結びつかない児童がいるため、日常生活とより関連付けて考えられるよう、発問の内容や指導内容を工夫する必要がある。	・日常生活とより関連付けて考えられるよう、児童の実態に合わせて指導内容を工夫する。 ・ねらいとする道徳的価値について自己を見つめ直すことができるよう、振り返りの時間を十分に確保する。 進ちょく状況及び追加／変更	
総合的な学習の時間	・地域の環境の現状や環境を保全する人々の工夫や努力がわかる。 ・情報を比較・分類するなど探究の過程に応じた技能を身に付ける。【知識及び技能】 ・自分の関心から問いを見いだし、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、相手や目的に応じてまとめ・表現する力を身に付ける。【思考・判断・表現】 ・探究的な学習に主体的・協同的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、自ら地域の活動に参画しようとする態度を育てる。【主体的に学習に取り組む態度】	・水とごみを学習テーマとし、各教科と関連させつつ学習を進める中で、知識活用能力及び探究の技能の向上を図る。【知識及び技能】 ・情報収集まではできても資料を写して満足する児童や情報を効果的にまとめられない児童がいる。また、自分の考えを分かりやすく表現できるようまとめることが難しい児童がいる。【思考力、判断力、表現力等】 ・主体的な課題解決への意識がまだ低いので、課題解決に向け見通しをもって取り組めるよう学習計画を工夫する必要がある。【学びに向かう力、人間性等】	・計画的に各教科の学習（ごみ、下水、季節と生き物など）との関連を図った指導を実践し、知識を活用できるよう指導する。【知識及び技能】 ・課題の設定、情報の収集、整理・分析、まとめ・表現の各過程において、協働して取り組む場面を設定し、互いのよさや考えを生かせる機会としたり、学習の見通しを確認する機会としたりする。また、発表の仕方については国語科と関連して話の組み立てを指導し、相手に分かりやすく表現できるようにする。【思考・判断・表現】 ・主体的な課題解決ができるように、学習計画を児童と共に作り、見通しをもって学習に取り組むことができるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	

学級活動	・協力し合って楽しい学級生活をつくる活動を行う。 ・相手の話をしっかり聞き、自分と異なる考えなどについても相手の立場や状況を考え、理由を明確にして意見を言えるようにする。折り合いを付けて集団決定をする話合い活動ができる。 ・朝や帰りの時間などを生かして、積極的に係活動や当番活動に取り組むことができる。 ・計画や運営などの役割を分担し、協力して楽しい集会活動をすることができる。	・係活動や当番活動に対しての意欲や取り組みに個人差が大きいので、各自が責任をもって取り組む意識を育む必要がある。 ・学級をよりよくするための活動を話し合いながら自治的に行えるまでに至っていない。 ・集会活動を通し、創意工夫を加えた多様な集会を行う機会を作る必要がある。	・係活動や当番活動において、責任とともに、協力すること、工夫することも併せて指導し、集団の一員であることの良さを実感できるようにする。 ・学級会では、話合いの仕方を丁寧に指導するとともに、教師の助言のもとで司会や書記などの役割を輪番制で体験させ、話合いの活性化を図るとともにと主体的に話し合う必要性を児童が実感できるようにする。 ・集会活動を話合いや試行錯誤の結果として位置づけ、集団の一員として参画することの良さを味わえるようにする。 進ちょく状況及び追加／変更	

【 第5学年 】 台東区立黒門小学校

	到達目標	児童の状況及び実態 指導についての課題	授業改善に向けての具体的な方策	改善策に対する 自己評価
国語	・我が国の言語文化に親しみ、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。【知識及び技能】 ・筋道立てて考える力や豊かに感じたり想像したりする力を養い、伝え合う力を高め、思いや考えを広げている。【思考・判断・表現】 ・言葉がもつよさを認識し、進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・登場人物の気持ちについて、叙述に基づいて捉えることが苦手な児童がいるため、日常から読みとりを丁寧に行う必要がある。 ・漢字の定着度に個人差があり、ノートや作文などで漢字を日常的に使うことができていない児童がいるので、定着度を上げていく必要がある。【知識及び技能】 ・「書く」活動では、「始め・中・終わり」の構成を意識したり、書きたいことの中心をはっきりさせて書いたりすることに課題のある児童がいる。 ・「話す・聞く」活動では意欲をもって楽しみながら取り組める児童が多い一方で、話す順序が整っていなかったり情報が不十分だったりするため、聞き手に考えていることが上手く伝えられない児童もいる。【思考力、判断力、表現力等】 ・読書する力については、個人差が大きい。教科指導の中で、読書力向上のための手立てをとる必要がある。【学びに向かう力、人間性等】	・叙述に着目しながら、丁寧に読み取りを行う。 ・画数や書き順を丁寧に指導し、声を出して確認したり唱えたりしながら確実に定着させていく。ミニテストを適宜実施することで定着を図る。ノートや作文でも既習の漢字を活用することを指導する。【知識及び技能】 ・自分が一番伝えたいことを「書くことの中心」としてテーマを決め、「始め・中・終わり」の3つの構成を立てることを繰り返し指導し定着させる。 ・「話す・聞く」活動では、他教科とも関連させて、プレゼンテーションの仕方や話し合いの仕方などを学べるようにする。【思考・判断・表現力等】 ・「読み聞かせ」を取り入れる。毎朝5分の読み聞かせを実施し、物語を読む楽しさを味わわせ、自らの読書活動につなげていく。読書カードを活用し、読んだ冊数を記入させ、視覚的に意識させる。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
社会	・日本の国土や産業、情報化と国民生活との関連を理解し、資料を調べまとめる技能を身に付けている。【知識及び技能】 ・日本の国土と産業に関する社会的事象の意味について考えたことを適切に表現している。【思考・判断・表現】 ・日本の国土と産業の社会的事象について、進んで問題を解決し、生活に生かそうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・資料を正しく読み取り、資料を活用しながら考察することはできている。【知識及び技能】 ・資料を基に、情報を整理し、考察したことを表現することはできている。学び合いや発表の機会を充実させていく。【思考力、判断力、表現力等】 ・各産業について、児童の日常生活とのつながりが薄く、知識だけの学習になりやすいので、実感を伴った活動を取り入れる必要がある。【学びに向かう力、人間性等】	・資料を効果的に授業に取り入れ、読み取り方を丁寧に指導したり、読み取ったことを友達同士で確認し合ったりする活動を日常的に行っていく。【知識及び技能】 ・学び合いを通じて資料を活用し、考察したことを伝え合う経験を積み重ねていくことで、より適切に分かりやすく表現する経験を養う。【思考・判断・表現】 ・計画的に見学や体験、出前授業などを行うようにし、得た情報や経験が自分の日常生活とどう結び付いているのかを、より実感できるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
算数	・数量や図形、量や測定、表やグラフなどについて理解し、計算したり作図したりするなどの技能を身に付けている。【知識及び技能】 ・数学的な見方・考え方を働かせて考察したり、課題を解決したりしている。【思考・判断・表現】 ・学習したことを振り返り、よりよい方法を粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用したりしようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・計算の力に個人差が大きく、四則計算が十分に身に付いていない児童もいる。 ・基本的な図形についての理解度が低く、作図の技能に課題のある児童が多い。【知識及び技能】 ・グラフや表の数値を読み取ることはできるが、データを用いて考察したり、考え方や結論を説明したりすることに課題のある児童が多い。【思考力、判断力、表現力等】 ・学習と日常生活の関連性を実感できず、学習時間内の知識のみで終わってしまう児童がいる。そのため、教科書に設定されている場面から外れると、自分で粘り強く考えられない場合がある。【学びに向かう力、人間性等】	・計算練習の機会を十分に取り入れ、学年相応の計算力が身に付けられるようにする。 ・図形の作図の際は、技能とともに、図形の性質も意識させて取り組ませるようにする。【知識及び技能】 ・適切な課題設定をし、知識を活用して考える活動を多く取り入れていく。 ・児童同士の学び合い活動を各単元で取り入れる。また、学び合いにより気付いたことをノート等に書き、学習過程が分かるようにする。【思考・判断・表現】 ・課題に関連する身近な生活体験を引き出したり具体物やICT機器を活用したりして、授業の導入とする。 ・自分の考えだけでなく、友達の考え方のよい点に気付き、学び合えるようにすることで、多面的に粘り強く考えることのよさに気付けるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
理科	・自然現象についてその性質や規則性を理解し、目的に応じて観察や実験を行い、それらの過程や結果を適切にまとめることができる。【知識及び技能】 ・条件を制御しながら調べる活動を通して、予想や仮説を基に、解決の方法を発想し、表現している。【思考・判断・表現】 ・自然現象に進んで関わり、問題を解決し、学んだことを学習や生活に生かそうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・実験や観察の結果と自然の法則やものの変化の規則性が結び付かない児童が見られる。【知識及び技能】 ・実験や観察の学習の過程を自分の言葉でまとめたり、表現したりすることを苦手とする児童が見られる。【思考力、判断力、表現力等】 ・理科の学習過程の見通しをもちにくい児童が見られる。【学びに向かう力、人間性等】	・条件を整理して実験や観察を計画したり、実施したりする。また、実験や観察を丁寧に行い、結果を十分に分析したり、意見交換したりする時間を設ける。【知識・技能】 ・既存の知識を活用することや考察を書く文章例を提示するなどして、論理的な思考ができるようにする。【思考・判断・表現】 ・単元の始めに学習の到達目標を示すようにし、学習過程の見通しをもてるようにする。また、学習過程に沿ったノートの書き方指導を繰り返し行い、理科の課題解決方法が身に付くようにする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	

体育	・運動の楽しさや喜びを味わい、運動の特性に応じた基本的な技能や、心身の健康などについての知識を身に付けている。【知識及び技能】 ・自己及びグループの運動への取組方や健康に関する問題について課題解決を目指して工夫し、考えたことを他者に伝えようとしている。【思考・判断・表現】 ・約束を守り、助け合って積極的に運動しようとし、健康・安全の大切さに関心をもっている。【主体的に学習に取り組む態度】	・経験の少ない運動領域には、苦手意識をもっている児童もいるので、用具の活用やルールなどを工夫することで、「運動を楽しむ」ことを味わいつつ、必要な知識を身に付けたり技能を向上させたりする必要がある。【知識及び技能】 ・「どうしたらポイントを意識した動きになるか」「どうしたら得点につながるプレーができるか」など運動場面での思考や判断が苦手な児童がいるため、学び合い活動を充実させる必要がある。【思考力、判断力、表現力等】 ・運動を通して公正・公平な態度が身に付いてきたが、安全面に関しては課題が残る。振り返りを充実させ、次の授業に生かす必要がある。【学びに向かう力、人間性等】	・年間指導計画を基に、学習過程を工夫したり、運動の特性を十分に味わえるような手立てを講じたりして、様々な運動を経験させることで体の巧緻性を高める。スモールステップで技能を身に付けさせるようにする。【知識及び技能】 ・学習資料を工夫したり、関わり合う時間を意図的に設定したりして、よりよい運動の仕方を考えながら学習を進められるようにする。【思考・判断・表現】 ・学習カードや掲示物を活用し、単元全体、本時の流れを児童が理解し見通しをもって取り組めるようにする。また、チームでめあてを決めたり、掛け声を考えたりして児童の意欲・関心を引き出す工夫をする。 ・振り返りの視点を明示したり、時間を十分に設定したりするなどして、振り返りを充実させる。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
音楽	・楽曲の特徴を理解し、適切な音楽表現をするための歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けている。【知識・技能】 ・音楽表現に対する思いや意図をもったり、曲や演奏のよさを見いだしながら音楽を味わって聴いたりしている。【思考・判断・表現】 ・主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しんでいる。【主体的に学習に取り組む態度】	・基礎的な技能は定着しつつあり、楽曲の特徴を理解し、適切な音楽表現をするための、発声、演奏技能を身に付けつつある。【知識及び技能】 ・音楽表現に対する思いや意図をもち、楽曲や演奏の良さを味わって聴いている児童が大半だが、それを全体に発信することに関して抵抗がある児童が多数いる。【思考力・判断力・表現力等】 ・様々な音楽は殆どの児童が親しんでいるが、協働した音楽活動は音楽領域によって制限がある場合がある。【学びに向かう力、人間性等】	・既習の技能を振り返ることや、新しい技能と組み合わせてできる題材を取り入れ、様々な表し方を工夫できるようにする。【知識・技能】 ・鑑賞カードやワークシートを駆使し、児童の思いや意図を汲めるようにし、まずは小集団で自己表現しやすい環境をつくる。【思考・判断・表現】 ・児童の関係性を見取り、題材の目標達成にふさわしいグループを目指し、児童がのびのびと音楽活動できるよう配慮する。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
図工	・形や色の様子を理解し、材料や用具を活用して、表し方を工夫し表すことができる。【知識・技能】 ・創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。【思考・判断・表現】 ・つくりだす喜びを味わい、主体的に表現したり、鑑賞したりする活動に取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】	・使う材料に対して想像した形が複雑で、今まで学んできた技能を生かしきれていない児童が見られる。【知識・技能】 ・ゲームや市販のアニメキャラクターに影響され、自分のイメージを十分に表現していない児童がいる。【思考力・判断力・表現力等】 ・作品づくりは、積極的に取り組むが、イメージシートに時間をかけすぎてしまったり、作品全体を見ることができなかったり、時間配分が課題の児童が多い。【学びに向かう力、人間性等】	・自分の表したいことに合わせて材料や用具を使い分けることができるよう、技能の振り返りや試す時間を意図的に設定する。【知識・技能】 ・イメージシートを活用し、簡単な図や言葉で示す時間を設定し、自分のイメージを確認しながら自信をもって表すことができるようにする。【思考・判断・表現】 ・児童が学習のポイントをすぐに理解し、見通しをもてるよう板書や視覚的にわかりやすい掲示を工夫する。 ・机間指導の際、個別に声を掛け、児童の課題を明確にする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
特別の教科 道徳	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方を深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を身に付ける。 ・時に対立がある場合を含めて、多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら感じ、考え、他者と対話し協働しながらよりよい方向を目指す資質・能力を育む。	・よい行いは何か、どのようにすればよりよく生活できるかを理解はできていても、実践に結び付かない児童がいるため、自分の生活と結び付けて考える姿勢を育てる。 ・道徳的実践意欲をもつ児童の姿が見えにくいため、学習シートや一人一台端末を活用して意欲を見取りながら指導する。 ・友達の考えに興味をもち、自分とは異なる意見やものの見方に触れることを好む児童が多い。	・毎回の授業の中で、日常生活とより関連付けて考えられるよう、児童の実態に合わせて指導内容を工夫する。 ・議論するに値する良質な資料を提示する。 ・ねらいとする道徳的価値について自己を見つめ直すことができるよう、振り返りの時間を十分に確保する。 ・一人一台端末や学習シートを効果的に使い、自分の意見を他者と共有できるようにし、多面的多角的に物事を考えられるようにする。 進ちょく状況及び追加／変更	

家庭科	・衣食住や家族の生活、消費や環境などについての知識及び技能を身に付けている。 【知識及び技能】 ・家庭生活を見直して課題を見付け、解決に向けて考え、自分なりに工夫している。 【思考・判断・表現】 ・衣食住や家族の生活に関心をもち、よりよくするために進んで実践しようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	・調理や裁縫等、家庭における日常の手伝いなどの経験量に差がみられる。【知識及び技能】 ・家庭生活の中での課題を見いだしたり、課題を解決するために自分なりに工夫したりすることが難しい児童がいる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業で学んだことを家庭で生かしたり実践したりする時間が取れない児童が多いため、保護者に家庭で実践してもらうよう呼びかける。 【学びに向かう力、人間性等】	・基礎的、基本的知識及び技能の習得を図り、スモールステップでのゴールを設定して、達成感を味わわせる。【知識及び技能】 ・自分達の家庭環境を理解し、課題に気付けるよう学び合いを十分に取り入れる。その上で自分が取り組めるめあてや課題を設定できるようにする。 【思考・判断・表現】 ・家庭ですぐにできることや友達の実践を紹介して、学んだことを実生活に生かそうとする意欲を高める。 ・自主学習等で、学んだことを家庭でも実践した児童を取り上げ、進んで実践していこうとする意欲を育てる。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
外国語	・外国語の音声や文字、表現などについて理解し、簡単な語句や表現を用いて聞いたり話したりすることができる。 【知識及び技能】 ・目的や場面に応じて、身近で簡単な事柄について聞いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝え合っている。 【思考・判断・表現】 ・他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な表現について、音声で出力する力に差がある。繰り返し発音練習に取り組む機会が少ない。聞き取る力に個人差がある。 【知識及び技能】 ・自分の気持ちや考えを表現することに課題が見られる。簡単な表現の仕方から習得し、スモールステップで学習を進める。 【思考力、判断力、表現力等】 ・外国語を用いてのコミュニケーションに課題が見られる。学習形態を工夫し、安心して自己表現できる環境を整える。【学びに向かう力、人間性等】	・ALTと連携し、基本的な表現の仕方や単語の発音の反復練習を行うようにする。リスニングの機会を増やし、英語に慣れさせる。 【知識及び技能】 ・与えられた表現を使って自分オリジナルのセンテンスを作ったり、友達の発表を聞いて、感想を述べたりすることで、表現力を高める。 【思考・判断・表現】 ・ゲーム性のある活動を多く取り入れ、児童が楽しみながら自然と外国語を使ってコミュニケーションをとれる環境を整えていく。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
総合的な学習の時間	・福祉のよさと課題及びそれに携わる人々の願いが分かる。 ・情報を比較・分類・関連付けるなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。 【知識及び技能】 ・実社会や実生活の中から課題を設定し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、相手や目的に応じてまとめ・表現する力を身に付ける。【思考・判断・表現】 ・探究的な学習に主体的・協同的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。 【主体的に学習に取り組む態度】	・福祉と健康を学習テーマとして、自分たちの生活と密接に関わっていることを理解する。 【知識及び技能】 ・インターネットをはじめとする各種メディアから必要な情報を選択することに課題が見られる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・児童同士が協力して作業する時間や学び合いの時間を設定し、互いのよさを認め合いながらよりよいものを作り上げようとする意欲を育てることを重視していく。 【学びに向かう力、人間性等】	・インターネット検索の方法など、情報収集スキルの指導を行う。また、インターネットや参考書籍の活用による調べ学習だけではなく、ゲストティーチャーとの対話や体験学習による学びを取り入れていく。 【知識・技能】 ・課題解決に向けて、「何の情報が必要なのか」、「選んだ情報は課題解決に適したものなのか」を吟味する時間を確保する。【思考・判断・表現】 ・児童同士で学び合いや教え合いを行う活動を確保することで、互いのよさを認め合い、助け合ってよりよいものをつくろうとする意欲を高める。 【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
学級活動	・信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくる活動を行う。 ・自分の言葉で建設的に意見を述べ合えるようにし、多様な意見のよさを生かして、楽しい学級や学校の生活をつくるためのよりよい集団決定をすることができる。 ・自分のよさを積極的に生かせる係に所属し、継続的に活動できる 。 ・話合い活動によって、互いのよさを生かしたり 、反省を生かしたりして、信頼し支え合って創意工夫のある集会活動をつくることができる。	・互いのよさを認め生かし合いながら、人間関係や健康安全など自己や学級の課題について、粘り強く努力できるようにする。 ・学級をよくしようと意欲をもつ児童がいる一方で、学級の一員であるという自覚に乏しい児童もいるので、自分たちでよりよい学級をつくり上げる実感がもてる活動を重視する。 ・教師の助言を受けながら、児童自身が活動計画を作成し、話し合いを進められるようにする。 ・児童会活動やクラブ活動の経験を生かして高学年として責任をもち、学級生活を楽しく豊かにするための活動に取り組むことができるようにする。	・相手の意見を尊重しながらも、自分の意見をしっかりともてるように声掛けをしていく。 ・学級会を月に1回は開き、学級の課題や検討すべきことを自分事として考え、話し合い実践していく活動を行う。 ・児童会活動やクラブ活動にて、高学年としての言動を意識させ、日々の学習を振り返る。よい活動や気付きは全体で共有して価値付けをしていく。 進ちょく状況及び追加／変更	

【 第6学年 】 台東区立黒門小学校

	到達目標	児童の状況及び実態 指導についての課題	授業改善に向けての具体的な方策	改善策に対する 自己評価
国語	・我が国の言語活動に親しみ、日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けている。【知識・技能】 ・筋道立てて考える力や感じたり想像したりする力を養い、伝え合う力を高め、自分の思いや考え広げている。【思考・判断・表現】 ・言葉がもつよさを認識し、進んで読書をし、言葉をよりよく使おうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・文章を書く際に時系列で書いたり、自分の気持ちに一番適した言葉を選んだりすることが苦手な児童がいる。【知識及び技能】 ・自分の思いや考えを話すことはできても、目的や意図を意識できていない児童がいる。【思考力、判断力、表現力等】 ・読書活動については、5 年時より週 2 回の朝学習を読書に充てているため、定着してきている。【学びに向かう力、人間性等】	・多様な言葉を使って表現できるよう語彙を増やす学習や書く活動を重視する。 ・豊かな表現ができるように、文章を書いた後に必ず交流させ、友達のよい表現に気付かせたり、表現をよりよくするための推敲を行わせたりする。【知識・技能】 ・話す時には、「誰に向けて」「何のために」を考えさせ相手意識や目的意識をもてるよう指導する。【思考・判断・表現】 ・5年時より続けている「読み聞かせ」を、今年度も継続していくことで、聞く力を高めると同時に、読書の楽しさを味わわせる。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
社会	・政治の働きや日本の歴史、国際社会での日本の役割を理解し、資料を調べまとめる技能を身に付けている。【知識・技能】 ・日本の政治・歴史や国際理解について、広い視野から思考・判断し適切に表現している。【思考・判断・表現】 ・日本の政治・歴史や国際理解について、進んで問題を解決し、生活に生かそうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な知識を豊富にもっているが、理解が浅いことがある。調べて分かった事柄をまとめ、発信することで理解を確かなものにしていく。【知識及び技能】 ・必要な資料を調べたり、情報を関連付けたりして考えることに苦手をもつ児童がいる【思考力、判断力、表現力等】 ・学習内容に対して自分の生活と結び付けて考えることに課題がある。【学びに向かう力、人間性等】	・教科書の資料だけではなく、資料集を活用したり、比較しやすい資料を準備したりすることで、多角的な視点をもって理解できるようにする。また、単元を通して学んだことを、新聞などの成果物にまとめる活動を毎単元取り入れる。【知識・技能】 ・調べ活動を工夫し、個人で考える時間を確保するとともに、協働的に学べる学習形態をつくることで、事実の把握→考察という思考の流れを定着させるようにする。【思考・判断・表現】 ・実生活と関連付けられるように体験学習を重視し、上野の文化遺産や国会、鎌倉への校外学習等を活用して本物体験の機会を増やし、児童の学習意欲を高める。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
算数	・計算、図形の意味、表・グラフなどについて理解し、計算や図形の構成、数量の関係を表・グラフに表すなどの技能を身に付けている。【知識・技能】 ・数学的な見方・考え方を働かせて考察したり、課題を解決したりしている。【思考・判断・表現】 ・学習したことを振り返り、よりよい方法を粘り強く考えたり、数学のよさに気付き学習したことを生活や学習に活用したりしようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な計算や図形に関する知識を豊富にもっているが、技能については個人差が大きい。 ・乗法、除法の計算や定規・コンパスの使い方などの習熟を図る必要がある。【知識及び技能】 ・数量や図形をイメージしたり、問題文から数の関係を読み取ったりすることが難しい児童がいる。 ・図形をかくプロセスを筋道立てて説明したり、計算の仕組みを筋道立てて説明したりすることが難しい児童が多い。【思考力、判断力、表現力等】 ・自分の考えを分かりやすく説明したり、より一般化して伝えようとしたりする意欲が低い児童がいる。【学びに向かう力、人間性等】	・学力向上推進ティーチャーと連携を図り、支援が必要な児童に対し、個別の支援を実施するなど全体指導と個別指導を効果的に行う。【知識・技能】 ・数直線図や図形を用いて問題を視覚的に把握できるように指導し、実感を伴った学習を進めることでイメージする力、問題文を読み取る力を育てていく。 ・適切な課題設定をするとともに、児童同士の学び合い活動を各単元で取り入れ、筋道立てて説明する機会を増やす。【思考・判断・表現】 ・児童同士の学び合い活動の中で、よりよい説明の仕方や一般化することのよさに気付けるよう指導していく。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
理科	・自然現象についてその性質や規則性を理解し、目的に応じて観察や実験を行い、それらの過程や結果を適切にまとめることができる。【知識・技能】 ・多面的に調べる活動を通して、より妥当な考えをつくりだし、表現している。【思考・判断・表現】 ・自然現象に進んで関わり、問題を解決し、学んでことを学習や生活に生かそうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・観察や実験の際に、変化させる要因と変化させない要因とを区別しながら計画を立てることに課題がある。【知識及び技能】 ・自然現象の変化や働きについてその要因や規則性、関係を推論する力を養うため、問題に対する予想を引き出す工夫をする必要がある。【思考力、判断力、表現力等】 ・学習した内容を日常生活の現象と結び付て考えることに課題がある【学びに向かう力、人間性等】	・新単元に入る際には、前単元までの内容を振り返り、これまでの結果を踏まえ、予想をもたせることで計画的に実験を行えるようにする。また、条件制御を意識して実験計画を立てるようにする。【知識・技能】 ・問題→予想→計画→観察・実験→結果→考察→結論という思考の流れを定着させ、深い学びを実現する。得られた結果は丁寧に考察し、自分の言葉で表現できるようにさせる。【思考・判断・表現】 ・単元の導入では、日常的な場面や、現象から疑問を見付られるようにする。また、終末では、学習したことが実生活でどのように生かされているのか考えさせるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	

体育	・運動の楽しさや喜びを味わい、運動の特性に応じた基本的な技能や心身の健康などについての知識を身に付けている。【知識・技能】 ・自己及びグループの運動への取組方や健康に関する問題について課題解決を目指して工夫し、考えたことを他者に伝えようとしている。【思考・判断・表現】 ・約束を守り、助け合って積極的に運動しようとし、健康・安全の大切さに関心をもっている。【主体的に学習に取り組む態度】	・運動経験の少なさから、自分の身体を思い通りに動かせなかったり、基本の動作を知らなかったりする児童もいる。【知識及び技能】 ・「どうしたらよい動きになるか」「どうしたら得点につながるプレーができるか」等、運動場面での思考、判断が苦手な児童がいる。【思考力、判断力、表現力等】 ・リレーやボール運動など、チームを作って学習を進める際は、児童の意欲・関心を引き出すルールの工夫をする必要がある。 ・振り返りが次につながらない児童もいる。【学びに向かう力、人間性等】	・年間指導計画を基に様々な運動を経験させ、体の巧緻性を高めていく。また、一人一人が自分にあっためあてをもち、自分の段階にあった技能の習得ができるよう指導する。【知識・技能】 ・学習カードや掲示物等を活用し、自分の目標や課題を常に意識させるようにする。【思考・判断・表現】 ・学習カードや掲示物等を活用し、単元全体、本時の流れを児童が理解し見通しをもって取り組めるようにする。また、チームでめあてを決めたり、掛け声を考えたりして児童の意欲・関心を引き出す工夫をする。 ・振り返りの視点を明示したり、時間をしっかり設定したりするなどして、振り返りを充実させる。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
音楽	・楽曲の特徴を理解し、適切な音楽表現をするための歌唱、器楽、音楽づくりの技能を身に付けている。【知識・技能】 ・音楽表現に対する思いや意図をもったり、曲や演奏のよさを見いだしながら音楽を味わって聴いたりしている。【思考・判断・表現】 ・主体的に音楽に関わり、協働して音楽活動をする楽しさを味わいながら、様々な音楽に親しんでいる。【主体的に学習に取り組む態度】	・それぞれの音楽領域において、ふさわしい音楽表現ができている児童が多いが、あと一歩のところで自分の良さや表現ができていない児童もいる。【知識及び技能】 ・音楽表現に対する思いや意図をもち、楽曲や演奏の良さを味わって聴いている児童が多く、記述でも自己表現できるが発言となると若干減る。【思考力・判断力・表現力等】 ・様々な音楽は殆どの児童が親しんでおり、児童間でも発信し聴きあえる環境にある。【学びに向かう力、人間性等】	・自分の表したいことにふさわしい音楽表現ができるよう常時活動や導入で集団の中の緊張を緩和し、自己表現しやすい環境を目指す。【知識・技能】 ・児童のよく知る音楽や音素材を題材に取り込むようにし、どの音楽も身近にあり、音楽を表現することが自然になるよう工夫して、発言しやすい環境をつくっていく。【思考・判断・表現】 ・よりよい環境で音楽活動を協働してできるよう一層学習環境を工夫する。児童間の関係性を大切にするとともに、ワークシートの返却や授業内の言葉かけを重要視し、児童が安心しながら音楽活動できる環境を工夫する。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
図工	・形や色の様子を理解し、材料や用具を活用して、表し方を工夫し表すことができる。【知識・技能】 ・創造的に発想や構想をしたり、親しみのある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりしている。【思考・判断・表現】 ・つくりだす喜びを味わい、主体的に表現したり、鑑賞したりする活動に取り組んでいる。【主体的に学習に取り組む態度】	・材料や用具を使う時に新しく学習した技能だけで表そうとする児童がいる。【知識・技能】 ・友達の作品や参考作品に影響され、自分のイメージを十分に表現していない児童や真面目が故考え込んでしまう児童が多くいる。【思考力・判断力・表現力等】 ・地域や身近にある芸術作品のよさや日常生活に溢れている形や色の面白さに気付かないことが多い。【主体的に学習に取り組む態度】	・自分の表したいことに合わせて表し方を工夫できるように学習の振り返りを行い、試す時間を意図的に設定する。【知識・技能】 ・児童が様々な作品のよさについて知り、発想を広げられるように身近にある作品や親しみのある作品を意図的に紹介したり掲示したりして環境を整備する。【思考・判断・表現】 ・題材設定を工夫し、地域の美術館の作品を鑑賞したり、授業で紹介したりすることで芸術が身近にあることに気付き、自分の作品に生かせるようにする。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
特別の教科 道徳	・よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的諸価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方を深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を身に付ける。 ・時に対立がある場合を含めて、多様な価値観の存在を認識しつつ、自ら感じ、考え、他者と対話し協働しながらよりよい方向を目指す資質・能力を育む。	・授業の内容を実際の生活と結び付けて考えられるように、教材や発問を工夫する必要がある。 ・考えが対立するような教材を活用し、多様な価値観を学級全体で共有させることを重視する。	・児童が身近に感じられるように、学校生活の諸問題を取り上げ、心の悩みや揺れ、葛藤等を積極的に取り入れた学習を構成する。 ・年間指導計画に沿って指導を進めるとともに、様々な資料を導入や終末でも活用していく。 進ちょく状況及び追加／変更	
家庭科	・衣食住や家族の生活、消費や環境などについての知識・技能を身に付けている。【知識・技能】 ・家庭生活を見直して課題を見付け、解決に向けて考え、自分なりに工夫している。【思考・判断・表現】 ・衣食住や家族の生活に関心をもち、よりよくするために進んで実践しようとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・日常の手伝いなどの経験値に差があり、調理や裁縫等における技能面での個人差が大きい。【知識及び技能】 ・家庭生活の中での課題を解決するために自分なりに工夫できない児童がいるので、自己のめあてをしっかりともたせるようにする。【思考力、判断力、表現力等】 ・調理や裁縫、家庭における日常生活の役割などの経験値に差が見られるため、家庭生活への意欲が高まるような授業を展開する。【学びに向かう力、人間性等】	・協働的な学びの多い学習を展開し、一人一人の技能を高めるようにする。【知識・技能】 ・自分たちの家庭環境を理解し、その上で自分が取り組める課題を設定できるようにする。【思考・判断・表現】 ・基礎的、基本的な知識及び技能の習得を図る中でつくることや働くことの喜びを味わわせ、学んだことを実生活に生かそうとする意欲を高める。【主体的に学習に取り組む態度】	

			進ちょく状況及び追加／変更	
外国語	・外国語の音声や文字、表現などについて理解し、簡単な語句や表現を用いて聞いたり話したりすることができる。【知識・技能】 ・目的や場面に応じて、身近で簡単な事柄について聞いたり話したりして自分の考えや気持ちを伝えあっている。【思考・判断・表現】 ・他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとしている。【主体的に学習に取り組む態度】	・基本的な表現について、音声で出力する力に差がある。【知識及び技能】 ・自分の気持ちや考えを表現することに課題が見られる。【思考力、判断力、表現力等】 ・外国語を用いてのコミュニケーションに課題が見られる。【学びに向かう力、人間性等】	・ALTと連携し、板書や活動の工夫を行いながら、基本的な表現の仕方や単語の発音の仕方などを身に付けるようにする。【知識・技能】 ・簡単な表現の仕方から習得し、スモールステップで学習を進める。 ・与えられた表現を使って自分オリジナルのセンテンスを作ったり、友達の発表を聞いて、感想を述べたりすることで、表現力を高める。【思考・判断・表現】 ・学習形態を工夫し、安心して自己表出できる環境を整える。 ・ゲーム性のある活動を多く取り入れ、児童が楽しみながら自然と外国語を使ってコミュニケーションをとれる環境を整えていく。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
総合的な学習の時間	・地域や日本、世界の未来像と自分たちの生活との関わりがわかる。 ・情報を比較・分類・関連付けるなど、探究の過程に応じた技能を身に付ける。【知識・技能】 ・実社会や実生活の中から課題を設定し、その解決に向けて見通しをもって調べ、集めた情報を整理、分析し、相手や目的に応じてまとめ・表現する力を身に付ける。【思考・判断・表現】 ・探究的な学習に主体的・協同的に取り組むとともに、互いのよさを生かしながら、積極的に社会に参画しようとする態度を育てる。【主体的に学習に取り組む態度】	・「黒門小を取り巻く地域の歴史や伝統とその継承に向けた取組」を探究課題とし、上野の町（人、もの、こと）のよさを理解できるようにする。【知識及び技能】 ・情報を収集するだけでなく、情報を整理し、活用できるように指導・助言する。また、自分の言葉でまとめられるようにする。【思考力、表現力、判断力等】 ・児童同士が協力して作業する時間を設定し、互いのよさを認め合いながらよりよいものを作り上げようとする意欲を育てる。【学びに向かう力、人間性等】	・課題の見付け方、探究の仕方について理解させる。また、その時間を確保する。【知識・技能】 ・課題解決に向けて、「何の情報が必要なのか」、「選んだ情報は課題解決に適したものなのか」を吟味する時間を設ける。【思考・判断・表現】 ・児童の協働的な学びの時間を確保することで、互いのよさを認め合い、助け合ってよりよいものをつくろうとする意欲を高める。【主体的に学習に取り組む態度】 進ちょく状況及び追加／変更	
学級活動	・信頼し支え合って楽しく豊かな学級や学校の生活をつくる活動を行う。 ・自分の言葉で建設的に意見を述べ合えるようにし、多様な意見のよさを生かして、楽しい学級や学校の生活をつくるためのよりよい集団決定をすることができる。 ・自分のよさを積極的に生かせる係に所属し、継続的に活動できる。 ・話合い活動によって、互いのよさを生かしたり、反省を生かしたりして、信頼し支え合って創意工夫のある集会活動をつくることができる。	・人間関係や健康安全など、自己の課題について真摯に受け止め、資料などを参考にしながら自己に合った実現可能な解決方法を決め、目標をもって粘り強く努力できるようにする。 ・教師の助言を受けながら、児童自身が活動計画を作成し、話合いを進められるようにする。 ・高学年として責任をもち、創意工夫のある活動ができるようにする。 ・児童会活動やクラブ活動の経験を生かして、学級生活を楽しく豊かにするための活動に取り組むことができるようにする。	・相手の意見を尊重しながらも、自分の意見をしっかりともてるように声掛けをしていく。 ・児童同士の話合いや計画・準備の時間を設定し、創意工夫する時間を確保する。 ・係や当番活動などで工夫できるところを考えさせていく。 ・児童会活動やクラブ活動での児童の様々な働きを称賛し、責任をもって活動することが学校全体を豊かにすることにつながることを実感させる。 進ちょく状況及び追加／変更	